

J A 自己改革の着実な実践に向けて

「JAは良くやっている」「JAは良く変わってきている」というお声をいただくようになりました。そういった声を今以上にいただけるよう、自己改革に取り組んでいます。

農業機械をセルフメンテ コスト低減に講習会

3月24日(土)・25日(日)、農業機械のコスト低減支援として、田植機とトラクターのセルフメンテナン講習会を開きました。これは、JA自己改革の実践に向けた取り組みの一つで、初めての開催です。会場は、JA片貝車輛農機センターで、2日間で組合員ら65



▲トラクター・田植機のメンテナンスポイントを確認した講習会

人が参加しました。

講習会では、ヤンマーの担当職員が田植機とトラクターの実演機を使い、セルフメンテナンスのポイントを解説し、「農業機械を長持ちさせるには、泥を付けたままにしないこと」と強調しました。

谷口熊一組合長は「担い手の意見交換でメンテナンス講習の要望があった。基本操作と基本技術で大切な農機具を安全に長く使ってほしい」とあいさつしました。

参加した組合員は「忘れていた点検箇所や知らなかったポイントを確認できた。最低限のメンテナンは自分でやって、安全に春作業を進めたい」と話していました。次回は4月7日(土)・8日(日)、午前10時からJA南部車輛農機センターで開催します。

組合員ニーズ明確に アンケート結果を報告

2月26日(月)、組合員を対象としたアンケート調査の結果報告会を開催しました。谷口熊一組合長をはじめ役員や管理職員ら約60人が参加。(一社)JC総研とJA新潟中央会から講師を招き、「組合員アンケートに見るJAづくりのポイント」や「JAの課題と今後の方向性」などを確認し、情報を共有しました。

アンケートは、JAに対する現状評価や今後の期待度を把握し、事業運営に反映し、自己改革を加速することが目的です。調査は昨年11月に実施。無作為に抽出した管内の正・准組合員を対象とした。組合員からは「農業者の所得増大のための事業を積極的に行ってほしい」「大口・小口利用の生産コスト低減に力を入れてほし

い」「農業の活性化に向けた取り組みに期待する」などの声が寄せられていました。

報告会に参加した谷口組合長は「アンケートでは、厳しい意見もある反面、期待の声も多く寄せられている。

組合員の声を大切にしていきたい」と話しました。

組合員アンケートの結果は、次号(広報誌5月号)でお知らせいたします。



▲組合員の満足度や期待度を共有した結果報告会